



# 令和8年度 製品・サービスの カーボンフットプリントに係るモデル事業

(地域人材育成支援)  
事業概要

2026年5月19日

環境省地球環境局地球温暖化対策課  
脱炭素ビジネス推進室



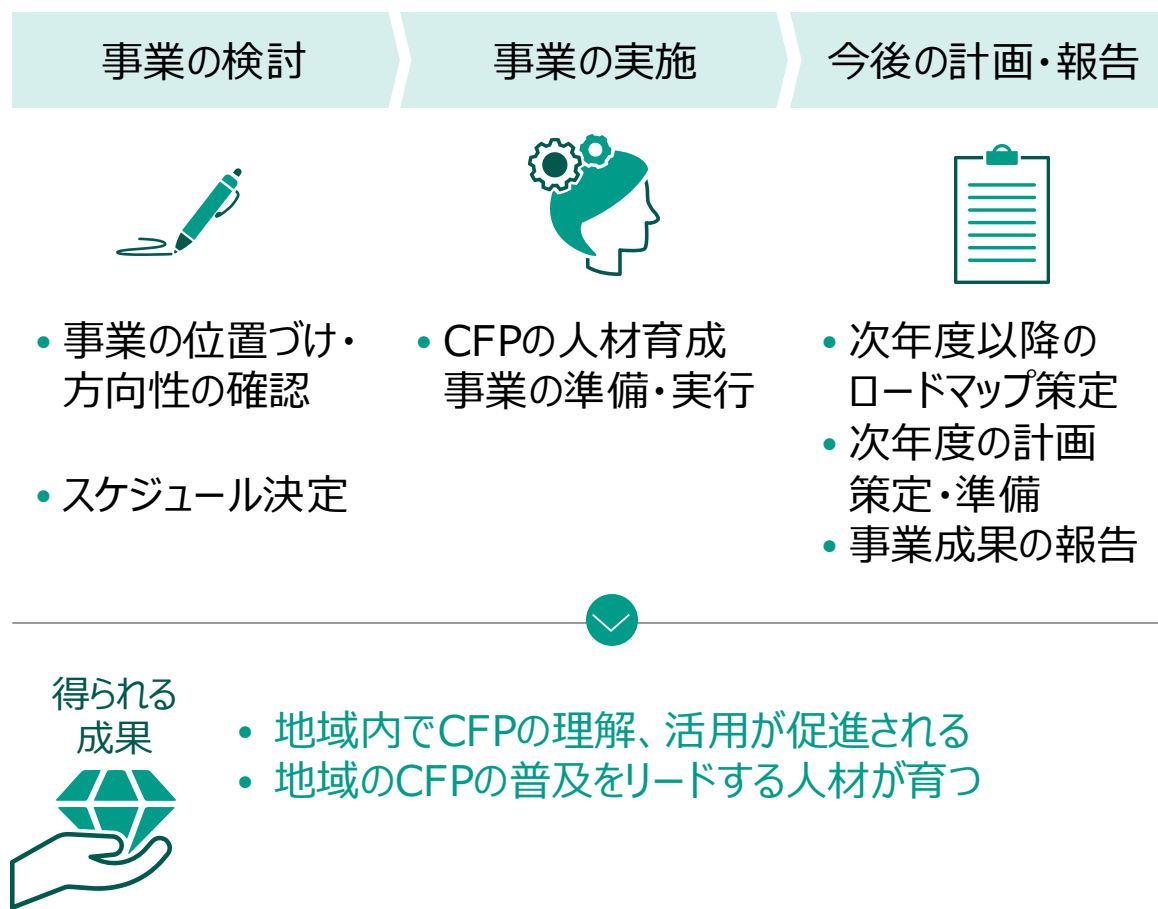
# 本モデル事業の概要

## ■ 地域におけるカーボンフットプリント（CFP）算定・表示の人材育成に向けた取組の支援を行う

### 背景と目的

- 「消費者が積極的に脱炭素に貢献する製品・サービスを選択できる社会」を実現するためには、購買活動における気候変動影響が、CFPを通じて消費者に「見える化」される必要がある
- 一方で、中小企業においては、CFPの基礎知識や取り組む意義が十分に浸透しておらず、算定・表示を担う人材の育成が求められている
- さらに、消費者側においても、CFPに対する理解や認知は依然として限定的である
- こうした課題を踏まえ、本事業では、地域におけるCFPの算定・表示を担う人材の育成に取り組む

### 事業全体の流れ



# 対象事業及び対象団体

■ CFPの人材育成につながる取組を対象とし、今年度は2団体程度を採択予定

## 対象事業

CFPの人材育成につながる取組を対象とする

### 望ましい例

- CFPにフォーカスした事業
  - CFPについて学ぶセミナーの実施
  - CFPについて教えるコンテンツの作成
  - 地域製品向けのCFP算定・表示ルール策定

### 望ましくない例

- CFPにフォーカスしていない事業
  - Scope3に関する講演/セミナーの実施
- 単独個社への支援
  - 社内でのCFP勉強会の実施

## 対象団体等（応募パターン）

CFPの算定・表示の人材を育成したい・地域内のCFPの普及に取り組みたい団体を対象とする

- 自治体
- 商工会議所
- 金融機関
- 大学等の教育機関
- 支援機関
- 地域内の企業 等

2パターンのうちのいずれかの応募パターンとする

1

複数団体共同

2

単独団体

# 地域でCFPの人材育成に取り組む意義

- CFPに取り組むことは、地域の課題を解決する脱炭素に向けたアクションになり得る
- 地域の企業、自治体、団体等がともに取り組むことで、ノウハウの共有や連携体制の強化につながる

## 地域に存在する課題の例



企業

脱炭素製品を作りたい

どこから手を付けるべきかわからない



自治体

脱炭素に資する地域の特産品をアピールしたい

どうやってアピールすればよいかわからない



金融・支援機関

地域の企業の脱炭素製品の販路拡大をサポートしたい

取引先がサプライヤーから排出量の提供を求められた



## 本事業を通じて得られる効果の例

地域で付き合いのある企業と一緒にCFPを学べる

CFP算定の知見やノウハウの共有ができる



地域の企業と一緒にCFPの算定・活用ができる

地域の脱炭素製品のブランディングができる



他金融機関との連携体制をつくることできる

取引先に対してCFPに関する提案ができる



# 令和7年度 モデル事業参加グループ一覧（地域人材育成支援）

■ 令和7年度のモデル事業では2グループが、地域におけるCFP人材育成に向けた取組を実施した

## SAGA COLLECTIVE

### 参加団体

- SAGA COLLECTIVE協同組合
- レグナテック株式会社
- 三福海苔株式会社
- 川原食品株式会社
- 丸秀醤油株式会社
- 天山酒造株式会社
- 有限会社井上製麺
- 株式会社徳永製茶
- 株式会社小野原製茶問屋
- 吉島伸一鍋島緞通株式会社
- 名尾手すき和紙株式会社
- 有限会社李荘窯業所

### 取組内容

- SAGA COLLECTIVEの製品を対象とした [CFP算定・表示ルール/マニュアル](#)策定
- SAGA COLLECTIVEの一部商品について CFPの算定・表示
- 外部向けCFPセミナー（講師育成）

## しずおかカーボンニュートラル金融コンソーシアム

- しずおかカーボンニュートラル金融コンソーシアム
- 静岡県
- 富士市
- 株式会社静岡銀行
- スルガ銀行株式会社
- 株式会社清水銀行
- 株式会社静岡中央銀行
- しずおか焼津信用金庫
- 静岡信用金庫
- 浜松いわた信用金庫
- 沼津信用金庫
- 三島信用金庫
- 富士宮信用金庫
- 島田掛川信用金庫
- 富士信用金庫
- 遠州信用金庫
- 一般財団法人静岡経済研究所
- 一般社団法人静岡県環境資源協会

- メンバー向けCFPセミナーの実施
- 金融機関の取引先等向けCFP普及啓発セミナーの実施
- 模擬算定の実施
- 取引先を想定したCFPに関する営業等のロールプレイの実施

# 本事業で実施する事業の例

- 事業での実施内容は地域の意向を尊重して、柔軟に対応する
- 例えば、人材育成事業の例としては以下に挙げるようなものが考えられる

## 入門パターン

## 発展パターン

### 目指す方向性

CFP初心者が、CFPの意義や算定の基本を理解

- 金融機関が脱炭素製品に取り組む企業に対して、CFPの活用を提案できる
  - 実際の製品でのCFP算定にあたっては、CFP算定ツールを提供している企業への橋渡しを行う
- 地域住民がCFPを理解し、ライフサイクル全体での脱炭素化をしている製品に関心が持てる

CFPを知っている者が、地域内の企業や周辺地域、企業も巻き込み、さらなるCFPの普及を行う

- CFPに知見がある者が起点となり、地域内でCFPの認知を広げ、地域内の複数企業がCFPを削減策検討やブランディングに活用する
- CFPについて既に取り組んでいる地域が、同様の取組を他の周辺地域に対して横展開を図る

### 対象

- CFPに関する取組を行っていない地域

- 既にCFPに関連する取組を行っている地域

### 実施内容

- CFP初心者対象のCFP理解・普及促進セミナーの実施
- 地域製品での模擬算定資料の作成、模擬算定の実施
- CFPを活用した営業のロールプレイ

- CFP算定済商品を集め、地域内の企業や住民に対して取組を発信する展示会の実施
- CFP算定経験がある企業による、地域内の企業等に対するCFPの意義や活用の仕方のレクチャー

### 支援の方向性

- 本年度事業設計・実施の助言、次年度以降の事業計画の策定の助言
- CFPセミナーの講師の派遣
- 地域の製品での模擬算定検討に対する助言

- ワークショップやコンテンツの検討・策定に対する助言
- 展示会実施に対する助言

※上記は一例であり、これにとどまらず、地域のCFPに関する人材育成に資する事業であれば対象とする

# 人材育成事業の検討・実行の支援例

## ■ 参加者のCFPの習熟度に応じて、モデル事業の取組内容や実施方法を検討する

実施内容の一例

### 事業の検討

地域の意向を踏まえて、事業責任者等との事業の設計・検討

- 事業のゴール
- 人材育成の対象者
- 実施事項
- 実施スケジュール

※事業責任者等にCFP初心者がある場合、事務局がCFPの基本や意義を説明

入門  
パターン

### 事業の実行

#### セミナーの準備・実施

事務局からの派遣講師による

CFPはじめて講座の実施

- CFPの算定・表示の基本や取り組む意義を学ぶ
- 参加者全体の知識をゼロから底上げする

#### 算定演習の準備・実施

事務局からの派遣講師による

模擬算定の実施

- 事務局が提供した題材で、事業参加メンバーが模擬算定を行う
  - 事業のメンバーが中心となって地域の製品で模擬算定資料を作成する等も可

#### 展示会の準備

CFP算定済の商品を集めた展示会を検討、準備

- 地域の企業の脱炭素の取組とCFP算定をした商品を紹介する展示会を企画
- 展示会について、地域内の企業や住民に対して周知

#### 展示会の実施

CFP算定済の商品を紹介する展示会を実施

- CFP算定に取り組んだ背景とCFP算定結果、取り組んでいる削減施策等もあわせて紹介
- 脱炭素に取り組んでいる地域内の企業等を招き、CFPに関する情報共有や相談会等も行う

発展  
パターン



# 本事業の実施方法

- 参加団体は、コンサルタント等の支援を受けつつ、自らが主体的に検討を進める

## 参加団体



## コンサルタント



検討状況や悩みの共有



CFPに関する知見・ノウハウ・  
参考資料の共有、  
課題解決のための議論（伴走支援）



### 実施内容

- (必要に応じて) CFPに関する講義の受講
- 地域に必要なCFP人材育成方法の検討
  - 上記実現に向けた検討・コンテンツ作成・実施
- 関係者合意形成 等

### 支援内容

- 検討の進め方案のご提示
- 検討の進め方や内容に関するアドバイス
- 参考コンテンツのご提供、資料作成に関するアドバイス
- 質問に対する回答・解決に向けた議論 等

# モデル事業に取り組む上での留意事項

- 円滑な事業推進体制の構築や、CFPのロールモデルを創出するという観点から、取組に関する積極的な発信が求められる

## 円滑な 事業推進

地域に広く影響力がある団体や企業が参加し、主体的取組に向けた事業推進体制を構築する

- 必要なリソースを確保し、参加者の役割を分担する (リーダー、連絡担当者 等)

地域におけるCFPの中期的な目標や本モデル事業のゴール・取組を明確化する

- 本事業で取り組む人材育成の内容が明確である

## ロール モデルの 創出

環境省/政府が事業に関して発信・発表することに対し、積極的に協力する

- 環境省が作成・発行するCFP関連のコンテンツに、本事業における取組を掲載する
- 報告会や脱炭素経営フォーラム<sup>2</sup> (仮称) にて、本事業における取組や成果を発表する

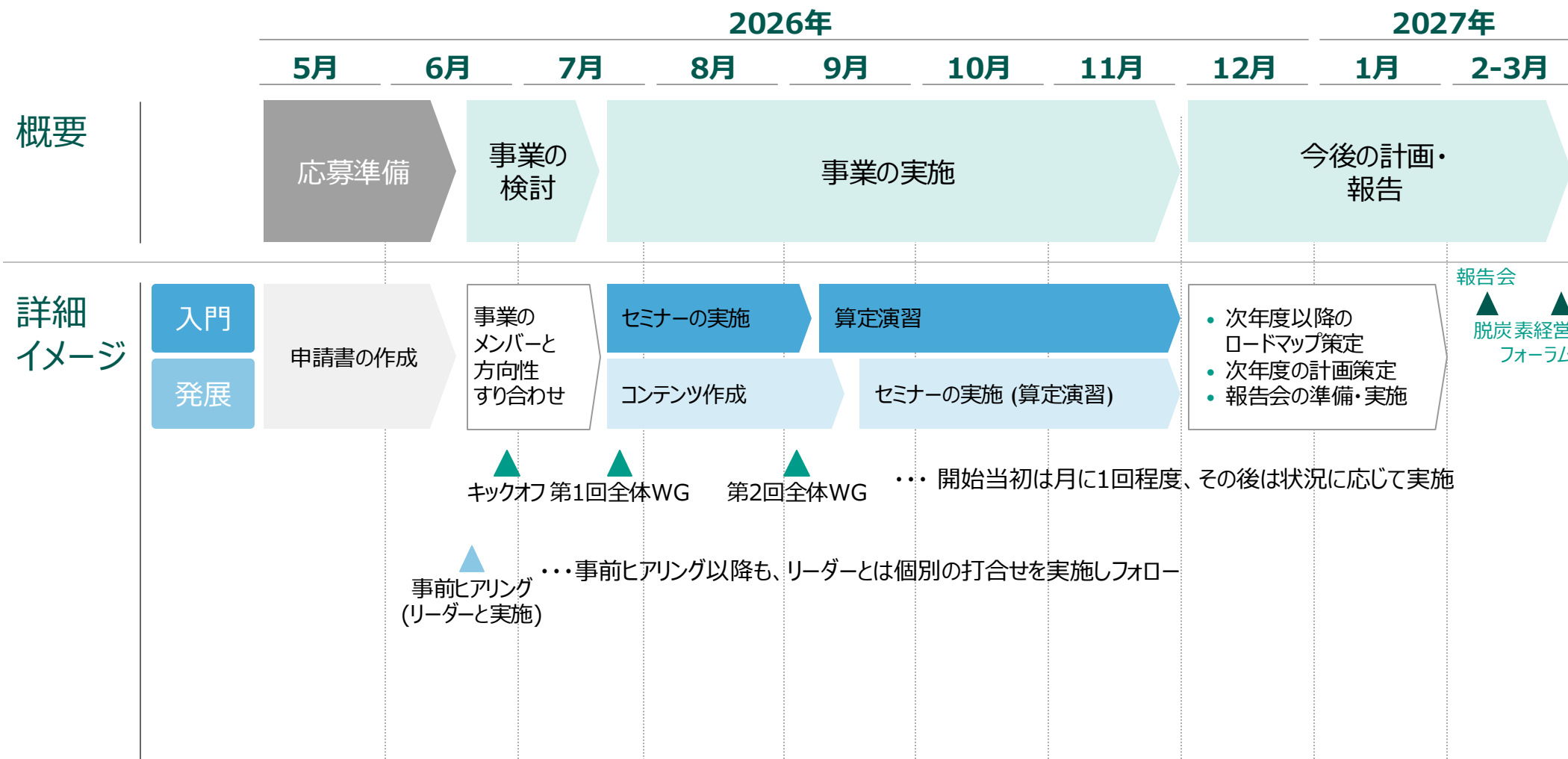
地域としてのCFPへの取組を発信し、企業は本事業での取組成果を積極的に活用する

- 本事業への取組やその成果を対外発信・発表し、消費者の行動変容に貢献する
- 取組成果やロードマップは本事業終了後も活用し、CFPの取組を拡大する

※上記は留意事項のため、具体的な採択基準が知りたい方は、P11をご参照ください

# スケジュール

■ 約8か月にわたって、地域人材育成事業の検討・実施を支援する



# 参加団体の採択において考慮する主な観点

- 以下の観点を考慮して採択する団体を決定する  
(採択にあたっては、必要に応じてヒアリング等を実施する可能性がある)

## 基準の概要

### スムーズな 事業運営

- | 基準の概要  | 必須 | 加点 |
|--|----|----|
| <b>①</b> 本事業で実施したいことが明確である <ul style="list-style-type: none"> <li>現時点のスケジュール案・想定される課題が明確である</li> <li>事務局に求める支援内容が明確である※</li> </ul>   | ✓  |    |
| <b>②</b> 検討に参加する参加者や企業とそれぞれの役割が明確である <ul style="list-style-type: none"> <li>議論の取りまとめを行うリーダーや、コンテンツ作成作業責任者、日程調整担当者等が決まっている</li> </ul> | ✓  |    |

### 波及効果

- |  |   |   |
|--|---|---|
| <b>③</b> GHG/CFP算定もしくはLCA実施の経験があり、実務を理解している者が参加する  |   | ✓ |
| <b>④</b> 本モデル事業での取組内容についての環境省/政府からの発信に協力できる        | ✓ |   |
| <b>⑤</b> 本モデル事業での取組内容についての参加団体/企業からの発信を積極的に行う      |   | ✓ |
| <b>⑥</b> 地域の企業等に広く影響力がある組織が参加し、CFPを幅広く普及することが見込まれる |   | ✓ |

### 継続性

- |   |   |  |
|---|---|--|
| <b>⑦</b> 地域内におけるCFPの活用のあるべき姿とそこでの本事業の位置づけが明確である | ✓ |  |
|---|---|--|

# 事業説明会の実施

- 事務局より本事業についてご説明するほか、前年度の本事業参加団体より具体的な取組内容をご紹介いただく
- さらに、Q&Aセッションで疑問点や懸念点等についてお答えする

## 概要

実施日 5月25日(月) 9時30分～10時30分

実施方式 Zoomウェビナー (オンライン)  
※アーカイブ配信を行う予定

目的 応募を検討している業界団体・企業等の懸念点・疑問点を解消する

申込先 <https://www.113.vovici.net/se/13B2588B2258D063>

申込〆切 5月24日(日) 18時



## アジェンダ (予定)

### 事業の趣旨

環境省

### 事業概要・CFPの説明

事務局

### 前年度事業参加者の声

SAGA COLLECTIVE

山口 真知

しずおかカーボンニュートラル

金融コンソーシアム

静岡銀行 鈴木 達也

### Q&A

事務局及び前年度参加者



- 事業参加の背景・理由
- 昨年度事業で実施したこと
- CFP普及に向けた今後の展望

事務局：ポストン コンサルティング グループ合同会社  
E-mail : [MOEcfp@bcg.com](mailto:MOEcfp@bcg.com)

担当課室：環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 脱炭素ビジネス推進室  
Tel : 03-6205-8277 (直通)

